

長野県

民俗の会通信

第302号

○ イエを閉じるということ .....  
○ 書評・地域にこだわる生活誌の実践  
― 三石稔著『郡境域から見続けた「上」伊那』を読んで― .....  
板橋 春夫

白井ひろみ

イエを閉じるということ

はじめに

松本市郊外にある私の実家は、二年前父が死亡したことにより空き家となった。正確には死亡の七年前に父は施設入所したため、その時点で空き家になったのだが、姉が毎月一回一週間程度滞在していたため完全な空き家ではなかった。とは言え、常に住む人がいない家は、無人の間に水道管から漏水し直下の部屋が水浸しとなったり、屋根裏からハクビシンが侵入し部屋を荒らすなどして老朽化の進行が早まった。

父死亡後、姉と私―二人の相続人は相続した土地や建物をどうするかそれぞれの家族とともに話し合った。その結果、傷んだ家を修繕して住むこと、広大な土地をこの先管理し続けることが困難と判断、母屋、土蔵などの建物内の家財を処分し、土地と建物を売却することを決断した。物としての家財処分と同時に、一四代続いた「イエ」を閉じることとなる苦渋の決断だった。

昨今、空き家の増加が社会問題となってお

白井 ひろみ

り、総務省の令和五年住宅・土地統計調査によると、長野県では住宅総数一〇三万八千戸に対し空き家数は九万二千戸で、概ね一〇戸に―戸は空き家という統計が示されている(1)。今後、少子高齢化等により空き家率がさらに増加することが予想されている。

空き家への対処は、その立地や建物の状況、所有者の状況等によって様々なケースがあり、実家じまい体験記、空き家の活用事例集、自治体の空き家対策ハンドブックなど様々な刊行物やサイトなどが発行、作成されていることから、この問題に対する危機意識や関心の高さが伺える。民俗学の研究報告としては、直近で倉石あつ子氏が長野市郊外のイエジマイをした事例を紹介し、少子化、晩婚化・未婚化などとともに社会全体のイエに対する考え方の変化がイエジマイの増加の要因ととらえ、イエと一体となるハカジマイについても言及している(2)。

本稿では、イエジマイを行った自分の体験を記すとともに、イエジマイとは何か、イエ

の継承が困難となった背景にある社会の変化について若干の考察を行いたい。「イエジマイ」の「イエ」とは「家」のことであるが、その定義は「建造物としての家屋、住居を拠点として生活上の共同関係を取り結ぶ家族集団、および家族を事実上の担い手とする超世代的な社会的単位を意味する多義的な用語」と説明され、研究者によって解釈が一樣ではない(『日本民俗大辞典』)。ここでは、先述の倉石氏の論考の定義に基づき、「財産としての物理的イエであるとともに、イエは家族が集う空間であり、子どもを産み育て、人を送り、先祖を祀る場所としての社会的な空間であり、そこに暮らす人が創り出す習俗・家格・家風などを含む文化的空間(3)」として「イエ」、「イエジマイ」の用語を使用することとする。

1 イエジマイの決断

実家を閉じるということは以前から考えていたというわけではなかった。逆に、父が生存中はそのうちに誰か(自分の子どもの中の誰か)が住むかもしれないと楽観視していた。父の方は、生前、イエの継承について深刻に悩んだ時期があり、孫のうちの一人を養子縁組し実家を継承するようにしたらどうかと再

四 その他

①入館料百円は会で負担します。

②昼食は、博物館付近の飲食店を計画しています。食事をする方は宮本までご連絡ください。

③午前は、豊科公民館講座室で行いますのでご注意ください。

○問合せ先

安曇野市豊科郷土博物館 宮本尚子まで

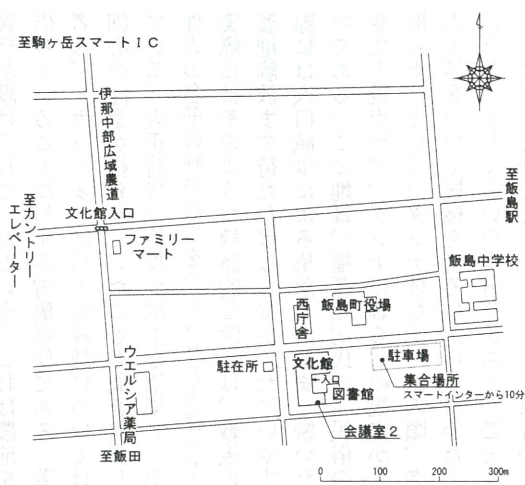
☎〇九〇—一六六八一—一八六〇

第二四二回例会案内

一日時 令和六年八月二十五日(日)

午後一時～六時三〇分

二 集合場所 上伊那郡飯島町文化館駐車場



三 日程・内容

午後一時～二時(見学)

○飯島町における畦畔管理の姿

○「犬神」碑

午後二時一〇分～四時三〇分(発表)

会場は飯島町文化館会議室?

○「犬神碑考」伊藤修氏

○「畦畔管理の実態とこれから」三石稔氏

午後五時四五分～六時三〇分(見学)

○伊那市高遠町島畑「二十二夜様」

四 その他

見学後解散としますが、懇親会を兼ねた交流会を見学後、宿泊で計画します。希望の方は、左記問合せ先まで七月十九日までに予約ください。宿泊希望の方には、宿泊場所など詳細を後日お知らせします。翌日(八月二六日)朝解散予定ですが、希望があれば見学会を計画します。

また、宿泊を希望されない方も、できま

たら事前に参加される旨 担当まで連絡くだ

さい。

○問合せ先 担当三石稔まで

☎〇九〇—四一六一—九四四二

メール tattyan\_m@yahoo.co.jp

◇『会報』四七号原稿募集について

前号で募集いたしました『会報』四七号の

原稿について、投稿を予定しているかたは、

事務局までご連絡をいただけるとありがたい

です。

◇会員異動

○入会 笠原隆志(長野市)

◇事務局から

まだのかたは、令和六年度の会費納入をお

願いします。会費の前納にご協力願います。

また、令和五年度以前の会費を未納の皆様は、

急ぎ納入をお願いします。

◇受贈図書

○『伊那路』八〇六(上伊那郷土研究会)

・伊藤修「犬神碑考(一)―飯島町域の犬神

関係碑―

・三石稔「【図説・上伊那の民俗】七八 那

木沢の獅子舞(伊那市高遠町山室那木沢)」

などを掲載

長野県民俗の会通信三〇二号

二〇二四年七月一日

会費年額 五、〇〇〇円

長野県民俗の会

事務局 安曇野市明科七貴六五三五一五

郵便番号三九九一七二〇四 巻山圭一方

電話(〇二六三)六二一六五三五

振替 〇〇五二〇一三一三六五七

長野県民俗の会

E-mail: info@nagano-minzoku.chu.jp

URL: http://nagano-minzoku.chu.jp/